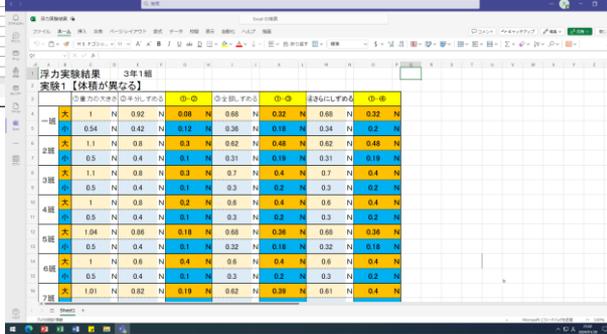
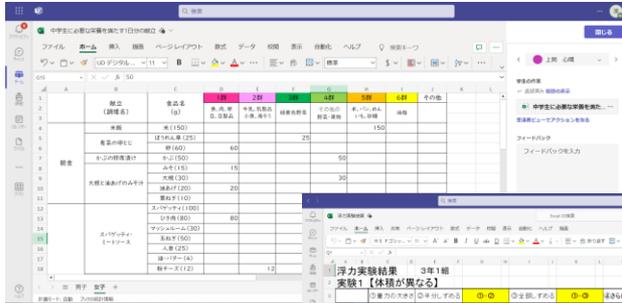


リーディングDXスクール事業【実践事例】

松山市立勝山中学校（愛媛県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

Microsoftの各ツールを用いて白紙の段階で共有し、常に共有した状態で作業



Word、Excel、PowerPoint等で予め簡単な様式を作っておき、Teams等を活用して共有する。

生徒は指定された枠内やスライド内で編集作業を行う。

- 活用したツール
- ・Teams
 - ・Word
 - ・Excel
 - ・PowerPoint など

◇ポイント・○成果・△課題

- ◇常に共有された状態なので、他の意見を取り入れやすく、行き詰っている生徒にとっては参考にしやすい。また、作業が速い生徒にとっても様々な意見を知ることができ、自身の考えを深めることにもつながる。
- 様々な見方・考え方や表現方法を短時間で一斉に共有することができ、生徒の思考を深める時間を十分に確保することができた。
- △他の人の枠やスライドも編集することができるので、活用する際は十分な事前指導が必要である。